

予定	「イノベーションキャンパス in つくば2016」の開催について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> 将来を担う若者の人材育成を図るため、全国の高校生を対象として科学の奥深さや課題解決の発想などを学ぶサマースクール「イノベーションキャンパス in つくば2016」を開催する。</p> <p><b>2 日時</b> 平成28年8月18日(木)～20日(土)</p> <p><b>3 場所</b> つくば国際会議場(つくば市竹園2-20-3), つくば市役所ほか</p> <p><b>4 内容</b></p> <p>(1) 第1部(つくば国際会議場:定員 1,000名(昨年実績 929名)) 研究者や企業人による授業を通じて、イノベーションの素晴らしさと、それを起こす未来を担う人材になるためのヒントを学ぶ。 8月18日(木)</p> <p>①基調講演 金星探査機「あかつき」プロジェクトマネージャ 中村 正人 氏 (JAXA宇宙科学研究所教授)</p> <p>②特別講義 イノベーションキャンパス in つくば2016 学長 長沼 毅 氏 (広島大学教授)</p> <p>③選択講座 7コースから選択</p> <p>(2) 第2部(つくば市役所及び市内研究機関等:定員 100名) つくば市内の研究機関の訪問やグループワークを通じて課題解決の発想を学ぶ2泊3日のサイエンスツアーを実施する。 8月18日(木) オリエンテーション, グループワーク 8月19日(金) 研究機関への訪問, グループワーク 8月20日(土) プレゼンテーション, 閉校式 ※訪問研究機関 産業技術総合研究所, JAXA筑波宇宙センター, 物質・材料研究機構</p> <p><b>5 主催</b> 茨城県, 茨城県教育委員会, つくば市, つくば市教育委員会, 読売新聞社</p>

予定	「まつりつくば2016」の開催について
要旨	<p><b>1 趣旨</b>  人々がそれぞれのふるさと感じながら、ふるさととしての「つくば」を再認識できるとともに、人々の熱気と躍動感あふれる夏まつりとして、多くの市民や来訪者等に愛される「まつりつくば」を目指し開催する。  キャッチフレーズ『わたしたちのふるさと、まつりつくば。』</p> <p><b>2 日時及び会場</b>  平成28年8月27日（土） 12:00～21:00 T×つくば駅周辺各会場  8月28日（日） 10:00～21:00 同上</p> <p><b>3 交通規制区間及び日時</b>  (1) 区間 土浦学園線（東大通り～西大通り間）を車両通行止め  (2) 日時 平成28年8月27日・28日（2日間） 16:00～21:00</p> <p><b>4 来場予定者数</b> 47万人（昨年度実績 47万人）</p> <p><b>5 イベント等</b>  (1) まつり大パレード（秋田竿燈<sup>かんどう</sup>10本、青森ねぶた9基、盛岡さんさ踊り等）  (2) センターステージ（和太鼓演奏、ダンス・踊り、キャラクターショー等）  (3) アートタウン（大道芸フェスティバル）  (4) スポーツパーク（3×3バスケットボール等）  (5) ロボットパーク・つくばペデカフェリゾート（竹園公園）  ※その他イベント内容等は、チラシを参照</p> <p><b>6 主催</b> つくば市・まつりつくば大会本部</p> <p><b>7 まつりつくばオフィシャルサイト</b> <a href="http://www.matsuri-tsukuba.com/">http://www.matsuri-tsukuba.com/</a></p> <p><b>8 その他</b>  (1) 当日、つくバス1日乗車券を「大人300円、小人150円」で販売  (2) 当日、T×研究学園駅～つくば駅往復乗車券を「大人200円、小人100円」で販売  (3) 市役所の駐車場を臨時駐車場として無料開放  (4) 会場区域内での無人航空機（ドローン等）の使用は原則禁止  (5) 災害時等対応訓練の実施  ①日時 平成28年8月20日（土）10:00～12:00  ②場所 つくばイノベーションプラザ及びつくばセンター広場等  ③参加者 大会本部委員、参加団体・出店者等（200人程度を予定）</p>

予定	筑波山地域の日本ジオパーク新規認定現地審査について									
要旨	<p><b>1 趣旨</b> 筑波山地域ジオパーク推進協議会は、日本ジオパークの認定に向け、4月13日に申請書を提出し、5月21日幕張メッセ国際会議場で行われたプレゼンテーションを経て、今回の日本ジオパーク委員会審査員による2016年度日本ジオパーク現地審査を受けることとなった。</p> <p><b>2 日程</b> 平成28年8月23日（火）～8月24日（水）</p> <p><b>3 場所</b> 筑波山および霞ヶ浦周辺ほか</p> <p><b>4 スケジュール</b>（詳細は別紙参照） 1日目：8月23日（火） 午前 協議会事務局及び首長ヒアリング 午後 筑波山周辺ジオサイト見学，協議会市民活動部会との懇話会 2日目：8月24日（水） 午前 土浦ジオサイト見学，協議会地域振興部会との懇話会 午後 霞ヶ浦周辺ジオサイト見学，協議会教育・学術部会との懇話会，講評</p> <p><b>5 審査員</b>  <table border="0"> <tr> <td>尾池</td> <td>和夫</td> <td>氏（日本ジオパーク委員会会長，京都造形芸術大学学長）</td> </tr> <tr> <td>中川</td> <td>和之</td> <td>氏（日本ジオパーク委員会委員，時事通信社解説委員）</td> </tr> <tr> <td>廣瀬</td> <td>亘</td> <td>氏（日本ジオパークネットワーク担当者，洞爺湖有珠山ジオパーク専門員）</td> </tr> </table> </p> <p><b>6 審査結果発表</b> 9月9日（金）都内にて開催される日本ジオパーク委員会にて審議され，認定の可否が発表となる予定。</p>	尾池	和夫	氏（日本ジオパーク委員会会長，京都造形芸術大学学長）	中川	和之	氏（日本ジオパーク委員会委員，時事通信社解説委員）	廣瀬	亘	氏（日本ジオパークネットワーク担当者，洞爺湖有珠山ジオパーク専門員）
尾池	和夫	氏（日本ジオパーク委員会会長，京都造形芸術大学学長）								
中川	和之	氏（日本ジオパーク委員会委員，時事通信社解説委員）								
廣瀬	亘	氏（日本ジオパークネットワーク担当者，洞爺湖有珠山ジオパーク専門員）								

予定	「つくば市シェイクアウト訓練2016」の実施について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> つくば市は、防災意識の高揚を図るため9月1日の「防災の日」に、市内全域を対象とした「つくば市シェイクアウト訓練2016」を実施する。 訓練内容は、参加者がラジオ放送等での合図に応じて、各自一斉にその場で「まず低く、頭を守り、動かない」の行動を取り、地震発生に備えるものである。 なお、シェイクアウト (ShakeOut) とは、「地震に備えろ！」という安全行動の標語で、アメリカ地震研究チーム発の造語であり、簡単にできる防災取組として世界的に広まっている。</p> <p><b>2 日時</b> 平成28年 9 月 1 日 (木) 10:45~10:55 10:45~10:50 シェイクアウト訓練の説明 (放送媒体等を活用) 10:50~10:51 シェイクアウト訓練実施 (各自) 10:51~10:55 反省, 振り返り (各自)</p> <p><b>3 場所</b> 自宅・学校・職場など (市庁舎では庁内放送で実施)</p> <p><b>4 周知方法</b> 広報つくば (8月号), 区会回覧 (8月), 学校や企業, 研究所などへのポスター掲示とチラシ配布, 市ホームページ, 日本シェイクアウト提唱会議のホームページ, twitter, Facebookなど</p> <p><b>5 参加方法等</b> ・誰でも参加可能 (事前登録制) ・登録方法は, 市ホームページからの電子申請, 又は, 参加登録用紙を危機管理課へFAXするか, 危機管理課, 各窓口センター・各地域交流センターへ直接持参する。 ※参加登録用紙は, 危機管理課・各窓口センター・各地域交流センターに設置 (市ホームページからのダウンロードも可)</p> <p><b>6 放送媒体</b> I B S 茨城放送 (FM 94.6MHz 又は AM 1458kHz) ラジオつくば (FM 84.2MHz)</p>

予定	消防本部による大規模災害対応訓練の実施について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> 9月1日の「防災の日」に、東日本大震災と竜巻災害の経験を踏まえ、大規模災害から学んだ教訓を振り返り、さらなる大規模災害対応力の強化を図ることを目的とし、全消防職員を対象とした大規模災害対応訓練を実施する。</p> <p><b>2 実施日</b> 平成28年9月1日(木) 13:30~15:00</p> <p><b>3 場所</b> (1) つくば市消防本部庁舎3階 災害対策室 (2) つくば市中央消防署豊里分署 震災対応訓練施設 (3) 宝篋山</p> <p><b>4 訓練実施者</b> つくば市消防本部全職員、茨城県危機管理課、茨城県防災航空隊</p> <p><b>5 訓練内容</b> (1) 非番召集命令伝達訓練 非番週休職員を対象とし、非番召集命令の伝達訓練を実施する。 (2) 情報収集訓練 各署救急隊に配備したスマートフォン、茨城県防災航空隊ヘリテレ及び災害用ドローンを活用し、主に映像による発災状況の情報収集を実施する。 (3) 通信運用訓練 消防救急無線又は可搬型衛星地球局を使用し、茨城県防災航空隊、仮想災害現場、部隊運用訓練参加隊及び消防対策本部間の通信訓練を実施する。 (4) 消防対策本部設置運営訓練 消防対策本部における初動体制の構築並びに情報収集、部隊配置及び応援部隊(緊急消防援助隊)の受け入れを想定した訓練を実施する。 (5) 部隊運用訓練 豊里分署震災対応訓練施設及び宝篋山にて、本部指揮隊、中央消防署特別救助隊及び茨城県防災航空隊が人命救助を想定した訓練を実施する。</p>

予定	「夏休みアート・デイキャンプ展2016」の開催について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> 大学と行政が連携し、創造力豊かな次世代を育成することを目的に、本年7月、「夏休みアート・デイキャンプ2016」(写生会)を、筑波大学で実施した。この度、当該キャンプで児童等が制作した作品(312点)の展示会を開催するとともに、優秀作品の表彰を行う。</p> <p><b>2 開催期間</b> 平成28年8月23日(火)～8月28日(日) 9:30～17:00 ※最終日は14:00まで</p> <p><b>3 展示会場</b> 茨城県つくば美術館(つくば市吾妻2-8) ※入場無料</p> <p><b>4 表彰式</b> 日時 平成28年8月23日(火) 11:00～ 会場 茨城県つくば美術館 アルスホール 各賞 最優秀賞, つくば市長賞, 筑波大学長賞, 優秀賞, 佳作, 特別賞</p> <p><b>5 主催</b> 筑波大学, つくば市, (公財)つくば文化振興財団</p> <p><b>6 その他</b> (1) 夏休みアート・デイキャンプ2016について つくば市及び近隣に在住・在学の、小・中・高生を対象に、筑波大学の教員や学生のアドバイスを受けながら絵画制作を行うイベント。本年度で9回目の開催。 開催日 平成28年7月16日(土), 17日(日) 参加者 延べ383名 (2) 茨城県つくば美術館での展示会開催は、本年度で2回目となる。</p>

予定	BiViつくば交流サロン「夏休み特別講座 科学実験工作」の開催について
要旨	<p><b>1 趣旨</b>  TXつくば駅前BiViつくばの交流サロンを活用し、市民が「科学のまちつくば」を身近に感じ、科学に対する関心を深めるきっかけづくりを目的として、夏休み期間中、小学生を対象に、親子で楽しめる科学実験工作教室を開催する。講座は夏休みの宿題にも役立つ様々なテーマで全10回開催。</p> <p><b>2 開催日</b>  平成28年8月2日(火)4日(木), 5日(金), 8日(月), 9日(火), 10日(水), 12日(金), 17日(水), 18日(木), 19日(金)</p> <p><b>3 時間</b> 各日 11:00~12:30</p> <p><b>4 場所</b> つくば総合インフォメーションセンター交流サロン  (つくば市吾妻1-8-1 BiViつくば2階)</p> <p><b>5 内容</b> 別紙チラシ参照</p> <p><b>6 対象</b> 小学生の親子</p> <p><b>7 講師</b> つくば市シニア・エキスパート  <small>かち ひろなり</small>  加地 浩成 氏  <small>ほりもと よしゆき</small>  堀本 能之 氏</p> <p><b>8 応募状況</b> 募集定員150組のところ598組の申込みがあり抽選で選考した。</p> <p>※「つくば市シニア・エキスパート」,  研究所や大学などを引退したつくばならではの多彩な人材が、その技能や特技を活かし、企業・各種団体等を対象に、専門分野の講演・講義、技術指導、事業支援、研究助言などを行っている。これらの多彩な人材を総称して、「つくば市シニア・エキスパート」と呼んでおり、平成20年度から始まったこの制度では、現在246名の方が登録されている。</p>

報告	「徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策社会実験」の結果について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> つくば市は、環境モデル都市行動計画、つくば環境スタイル“SMILe”のプロジェクトの一つとして、自動車から低炭素な移動手段（徒歩、自転車や公共交通）への転換を促進するため「コミュニティ道路化の促進」に取り組んでいる。 そのような中、道路に環境意識向上対策と安全対策を施し、その効果を測定するため、徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策社会実験を実施した。</p> <p><b>2 実験場所</b> つくば市春日二・三丁目の一部（資料1参照）</p> <p><b>3 実験経過</b> 平成27年10月 対策前実測調査（平日2時間×1日、休日3時間×1日） （交通量カウント、速度調査、通行位置調査） 平成27年11月 低炭素型の道路環境の整備 （誘導ピクト設置、外側線＋カラー舗装、段差舗装ほか） 平成27年11月 対策中実測調査（平日2時間×1日、休日3時間×1日） 平成27年12月 アンケート調査 （エリア内全世帯へポスティング3,300世帯、517人回答） 平成28年5月 フォローアップ実測調査（平日2時間×1日、休日3時間×1日）</p> <p><b>4 実験結果（資料2参照）</b> (1) アンケート調査 ・徒歩、自転車の利用を促す効果がある ・CO2削減量は120.4t-CO2/年と推定される（潜在的な転換意向を含む） ・「健康」への意識が移動手段変更の大きな要因になる ・安全になったと感じる人が多数であった (2) 実測調査 ・自動車への速度抑制対策（連続段差舗装、カラー舗装）により、平均速度がやや減少 ・歩行者交通量（平日）が増加 ・誘導ピクトによる通行位置誘導により、区分を守る自転車の割合が増加 ・路側帯（路端から1.0m）に外側線＋カラー舗装を設置することにより、路側帯を通る自動車の割合が減少</p> <p><b>5 今後の取組</b> 今回の実験により効果が確認できたことから、転換可能性の高い徒歩、自転車での移動促進、特に徒歩移動の促進に関する対策を主眼に置いた「歩きたくなる道、歩ける道づくり」の整備方針を進めるため、転換の主な動機である健康増進、環境意識向上の2面からのアプローチを検討していく。</p>



報告	つくば市水道事業の経営状況の報告について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> つくば市水道事業は、市民への安定的な水供給を図るため、企業会計により事業の合理化・効率化に取り組みながら事業運営を行っている。 しかしながら、供給単価に対して給水原価が約3割高い「赤字給水」が続いていることや、水需要の伸び悩みにより給水収益が上がらない状況であるため、施設の更新や改良に充てるべき資金を取り崩しながら事業運営を行う状況が続いており、年々資金も減少し、非常に厳しい経営状況となっている。 このようなことから、経営の現状について市民に広くお知らせするため、チラシを作成し、全戸配布を実施した。</p> <p><b>2 経営状況の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年度水道事業会計の現金収支では、3億6,700万円の赤字</li><li>・平成10年度末に75億円超あった現金預金が、平成27年度末には10億円余に減少</li><li>・平成27年度は、1 m<sup>3</sup>当たり41円の赤字給水</li></ul> <p><b>3 経営健全化に向けた今までの取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・職員数の削減</li><li>・外部委託の導入</li><li>・老朽施設の統廃合</li><li>・滞納整理等の強化による未収金の回収</li><li>・借入金の低利借換え</li><li>・受水費の値下げ要望</li><li>・資産の有効活用</li></ul> <p><b>4 今後の取り組まなければならない事業</b> 更なる水道の安定供給のため、研究学園地区を中心に老朽管路の布設替工事を引き続き実施していくとともに、耐震性の低い施設を対象に耐震診断を行い、必要な補強工事を実施していく必要がある。 また、市内の水道未整備地区の多くから水道整備の要望があり、市内均一の水道サービスを提供する観点からも、未整備地区の解消を図る必要がある。</p> <p><b>5 市民に対するお知らせの配布</b> 平成28年8月号「広報つくば」に合わせて、お知らせ（約9万7,000部）をポスティングにより全戸配布した。</p> <p><b>6 その他</b> このような経営状況を踏まえ、平成25年11月に市長から「上下水道審議会」へ料金改定を含め「経営健全化に関すること」などについて諮問し、平成27年11月に同審議会から答申書が提出されている。</p>

<b>報告</b>	つくば市マンホールカードの配布について
<b>要旨</b>	<p><b>1 趣旨</b></p> <p>つくば市では、国交省と日本下水道協会が連携し全国統一規格で製作を始めた「カード型広報パンフレット＝マンホールカード」の募集に参加し、「つくば市マンホールカード」を製作した。</p> <p>このカードは、下水道を住民に身近で親しみやすい存在とするため、これまで下水道に気をとめていなかった方々が興味を持つきっかけにしていることと、既に関心がある方々に下水道に対する造詣をさらに深めていただくことをねらいとして配布する。</p> <p><b>2 配布概要</b></p> <p>(1) 期間 平成28年 8 月 1 日 (月) から</p> <p>(2) 場所 庁舎 1 階水道お客様センター</p> <p>一人 1 枚を原則として、土日を含めた業務時間内に配布 (祝日及び年末年始を除く。)</p> <p>・電話, FAX, メールでの受付は不可。</p> <p><b>3 その他イベント等での配布</b></p> <p>まつりつくば, 下水道コンクール, つくばマラソン, 梅まつり等</p>

その他	「第68回筑波山ガマまつり」の開催について
要旨	<p><b>1 趣旨</b> 筑波山の観光素材を最大限に活かし、筑波山及びつくば市のイメージアップや観光誘客を図るため、筑波山ガマまつりを開催する。ガマの供養と商売繁盛を願ってはじめられた本まつりは、今回で68回目となり、中でも、本年3回目を迎える「筑波山がまレース (TGR2016)」は、約600名の老若男女がカエルのマスクを被って、筑波山門前通り (約350m) を一気に駆け抜ける筑波山ならではの人気イベントとなっている。</p> <p><b>2 日時及び会場</b> 平成28年 8 月11日 (木・祝・山の日) 10:00~17:00 筑波山門前通り周辺 ※当日は交通規制あり</p> <p><b>3 来場予定者数</b> 5千人 (平成26年度実績 5千人/平成27年度は中止)</p> <p><b>4 イベント等</b> (1) 神事 (祭事・ガマ放池・<small>ほうち こうよしようにん</small>光營上人慰霊祭・ガマの油売り口上) (2) 筑波山がまレース2016 全8部門、事前エントリー制 (600名) ご当地キャラの部 (参加21体) もあり 参加者には熱中症対策として飲物を提供 (3) 筑波山屋台村 (4) お笑いライブ (赤プル)・郷土芸能等 ※イベント内容等は、チラシを参照</p> <p><b>5 主催</b> 筑波山ガマまつり実行委員会 (一社) つくば観光コンベンション協会</p> <p><b>6 共催</b> つくば市</p> <p><b>7 ホームページ</b> <a href="http://www.ttca.jp/">http://www.ttca.jp/</a></p> <p><b>8 その他</b> (1) 昨年、関東・東北豪雨で中止となった経緯から「関東・東北豪雨／熊本地震復興支援イベント」として開催し、がまレース参加者や来場者から義援金を募る。 (2) 筑波山頂で筑波観光鉄道が「山の日イベント」を同時開催する。 (3) 会場区域内での無人航空機 (ドローン等) の使用は原則禁止。</p>